

# 学校だより



平成27年度 第5号

下野市立南河内中学校  
発行者 日下田 英彦  
H27. 5. 11

5月らしい、さわやかな気持ちの良い天気が続いています。まさに「五月晴れ」です。ゴールデンウィーク、春季下都賀地区大会が終わり、今週で5月も半ばとなります。

また、5月1日（金）の授業参観、PTA総会では大変お世話になりました。全ての議案が承認され、新体制によるPTA活動も動き出しました。月末の30日（土）には、環境整備部、父親委員会の方々に除草等の環境美化作業でお世話になります。よろしくお願ひします。



授業参観の様子



PTA総会の様子



新PTA役員あいさつ  
大変お世話になります。

## 1 春季下都賀地区大会の結果

5月8日（金）9日（土）に春季下都賀地区大会が開催されました。前回の学校だよりでは、各部の部長さんに大会への抱負を書いてもらいました。結果はそれぞれですが、大切な事は結果ではなく、目標に向かってどれだけ前向きに取り組むことができたかだと思います。頑張れた事は自信にし、足りなかったことはこれからの練習で取り組んでいくことです。また、お忙しい中、応援に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

野球部 2回戦敗退（1回戦 5対0 乙女、 2回戦 1対2 栃木東）

バドミントン部 男子団体 予選敗退  
男子ダブルス9位 関根光成・後藤有輝組（県大会出場）  
女子団体 予選敗退

ソフトテニス部 男子団体ベスト8 敗者復活戦敗退  
個人準優勝 馬場祐希・藤沼龍生組（県大会出場）  
女子団体ベスト8 敗者復活戦敗退  
個人ベスト8 久保野亜美・溝口涼香組（県大会出場）  
ベスト16 渡邊喬日・熊谷 環組（県大会出場）

卓球部 男子団体戦 予選リーグ敗退 女子団体戦 予選リーグ敗退

バスケットボール部 1回戦敗退（対小山第二）

剣道部 男子団体 7位（県大会出場） 個人 小野田悠人・関 海斗（県大会出場）  
女子個人 ベスト8 神山弥代生（県大会出場）

## 2 学校教育目標と学校経営方針（抜粋）をお知らせします。

4号までは、年度初めのお知らせや、行事の感想が多くなりましたが、落ち着いて、学習や学校生活に励める月になりました。5月1日の全体会でお話ししました学校教育目標と平成27年度の学校経営方針（抜粋）をお知らせします。学校経営の方針というと堅く感じますが、「こんな学校にしたい。こんな学校を目指す。」ということをもとめ、教員が同一歩調で取り組んでいくためのものです。本校の伝統や地域の良さを生かしたうえで、本校ならではの特色ある学校作りを目指していきます。保護者の皆様にも、学校を目指す方向についてご理解をいただきたく思います。よろしくお願ひいたします。

### 学校教育目標

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| <b>1、自ら学ぼう</b>         | ( 聡く )    |
| <b>2、豊かな心を育てよう</b>     | ( 豊かに )   |
| <b>3、たくましく頑張り抜こう</b>   | ( たくましく ) |
| <b>(そしてだれもが自分のよさを)</b> |           |

#### 目指す生徒像

- ・ 柔和なあいさつのできる生徒
- ・ 進んで学習に取り組む生徒
- ・ 豊かな心を持った生徒
- ・ 自分の考えを持ち表現できる生徒
- ・ たくましく頑張り抜く生徒

#### 目指す学校像

- ・ 生徒一人一人がいきいきと活動する学校
- ・ 生徒が「今日も楽しかった。明日も頑張ろう。」と思える学校

#### ※達成のための教師の基本姿勢

- ・ 「認めて、褒めて、励まして、信じて、見届ける。」を教師の基本姿勢にする。
- ・ 本校ならではのアットホームで気軽に相談のできる雰囲気作りに努める。

#### 学校経営方針（基本方針）

- (1) 21世紀を「聡く、豊かに、たくましく」生き抜く生徒を育成するための教育課程を編成し、基礎的、基本的な内容の指導を徹底する。
- (2) 全教職員の信頼と組織力を基盤とし、生徒一人一人のよさや可能性を引き出し、自己有用感のある活気に満ちた学校づくりを実践する。
- (3) 家庭や地域と連携し、信頼される学校を構築する。

#### 学校経営方針に基づいた特色ある教育活動と具体策

- (1) 学力の向上に向けた学習指導法の工夫、改善。
  - 自ら考える力を育成し、基礎・基本、知識・技能の定着を図る。
  - 個の考えを引き出す授業形態等の工夫、改善を図る。
  - 生徒による授業評価により教職員の指導技術の向上を図る。
  - 小・中の連携を促進する。(学区内小学校との合唱の交流、学習指導共同研修等)
- (2) 自律的な学習習慣の確立。
  - 家庭学習の確実な習慣化を図る。(家庭学習7か条)(夕顔学習)(学習相談)
- (3) 「開かれた学校」の推進。
  - 積極的に情報を発信する。(各種「たより」の発行。HPの充実。すぐメールの活用)
  - 地域清掃や地域事業に積極的に参加する。(子ども未来プロジェクト)
- (4) 生徒指導の充実。
  - 教育活動全体を通して「豊かな心」を育むと共に道徳の時間の充実を図る。
  - 「子ども未来プロジェクト」の実践化。「いじめ」撲滅活動)
- (5) 各種「学校行事」の充実。
  - 本校ならではの「学校行事」を一步前進させる。
- (6) 「花と本と歌(詩)のある学校」の充実
  - 季節感のある校内環境の整備と「俳句づくり」の推進。
- (7) 自分の生き方を考えるキャリア教育の推進
  - 進路決定に生きて働くキャリア教育の充実。
  - 職場見学や職場体験等の実践により、コミュニケーション能力を育成する。